

令和4年10月29日(土)

盛岡市遺跡の学び館

# 国史跡 盛岡城跡 第44次調査 現地説明会

## 史跡整備に伴う本丸地区の発掘調査

盛岡城は、初代盛岡藩主の南部信直と、その子で2代藩主の利直が、慶長2年(1597)頃から寛永10年(1633)の間、約40年もの歳月をかけて築いた南部氏の居城です。城は旧北上川と中津川の合流点の丘陵に位置する平山城で、両河川を天然の外堀として利用しました。

明治維新後、盛岡城は陸軍省の所管となります。城内建物の保存も考えられましたが、荒廃が進み維持が難しいことから、明治7年(1874)に建物のほとんどは取り壊されました。その後、公園整備の計画が進められ、明治39年(1906)に「岩手公園」の名称で開園。昭和12年(1937)には、江戸の当時を思い起こすような、雄大な石垣が良好に残されていることから、国指定史跡に指定されました。

盛岡市では、歴史遺産を保存し、市民の憩いの場の整備・活用を推進するため、平成24年(2012)に「史跡盛岡城跡整備基本計画」を策定し、平成25年(2013)以降は、「史跡盛岡城跡整備基本計画」に伴う発掘調査を開始しました。本丸地区については、令和元年(2019)から発掘調査を実施しており、大切な史跡である盛岡城跡を守り伝えていくために、建物跡や、遺物(当時使われていた瓦や陶磁器など)の調査・保存を行っています。



盛岡城跡本丸 南部利祥中尉銅像台座

## 盛岡城跡 本丸地区

お城の中心部にあって、天守を築いた最も重要な場所が本丸です。盛岡城は、本丸から見て北へ二ノ丸・三ノ丸と続く連郭式れんかくしきのお城です。本丸の規模は南北約 70m・東西約 67m、標高は約 143m で、もりおか歴史文化館が立つ平地よりも約 23m 高いところにあり、本丸に立ってみると、平山城ならではの見晴らしの良い景観が広がっています。

本丸北面と二ノ丸南面の間には堀ほりがあり、現在は朱塗りの橋がかけられています。江戸時代にはこの橋に屋根がかけられており、「廊下橋ろうかばし」と呼ばれていました。残りの三方は腰曲輪こしくるわ（淡路丸あわじまる）に囲まれており、東側には「御末御門（御本丸御門）」がありました。

本丸には、藩主のお屋敷や政治を執り行う場所がありました。これらを「本丸御殿ほんまるごてん」といいます。江戸時代後期の資料で見ると、1階約 116 室、2階約 45 室、3階約 10 室を数え、本丸御殿には、ほぼ隙間なく建物が立ち並んでいたことが分かります。

本丸の各隅には櫓台やぐらだいが置かれており、北西隅には「小納戸櫓こなんどやぐら」、北東隅には「隅櫓すみやぐら」、南西隅には「二階櫓にかいやぐら」、南東隅には「三階櫓（天守）さんかいやぐら てんしゅ」がありました。櫓の特徴は、赤色の瓦にあります。赤瓦あかがわらは、釉薬ゆうやくを付けて高温で焼いたもので、見栄えもよく、耐寒性にも優れています。寒さや雪で瓦が割れることを防ぎ、外から見て立派に見えることから、盛岡城の櫓には赤瓦が用いられました。

## 第 44 次発掘調査成果

調査期間 令和 4 年 8 月 29 日～11 月 30 日（予定）

調査場所 本丸地区東部及び西部の一部

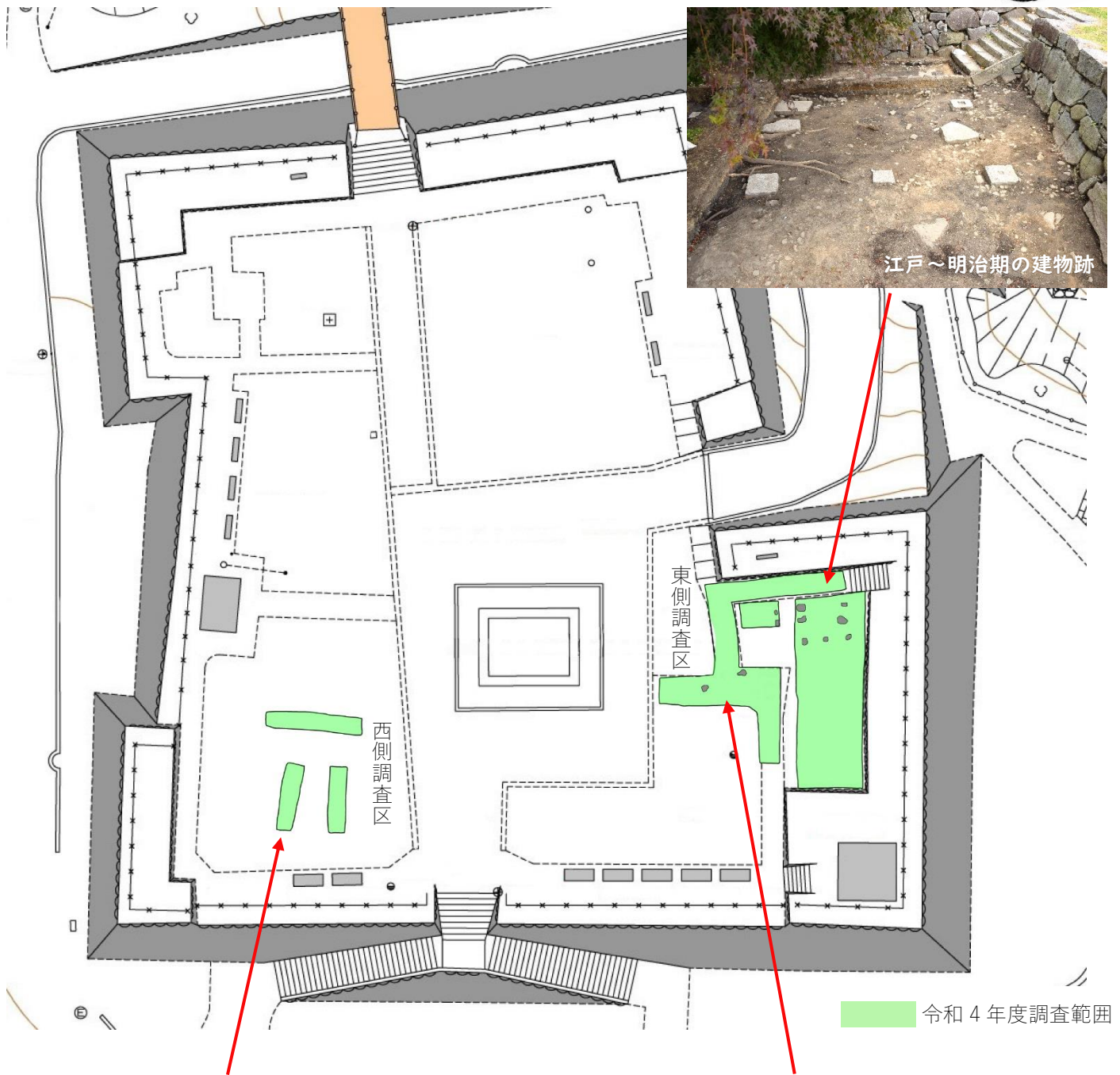
調査目的 本丸御殿跡の確認

調査面積 204.07 m<sup>2</sup>（西側調査区 29.4 m<sup>2</sup>、東側調査区 174.67 m<sup>2</sup>）

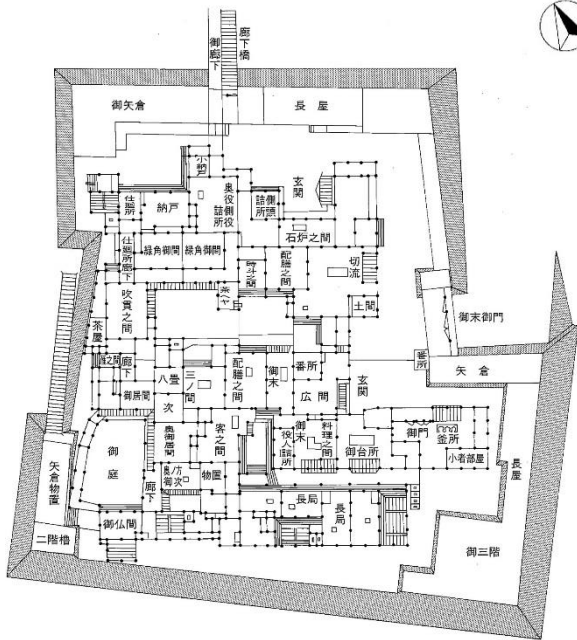
検出遺構 礎石

出土遺物 瓦（軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦）、陶磁器、鉄製品

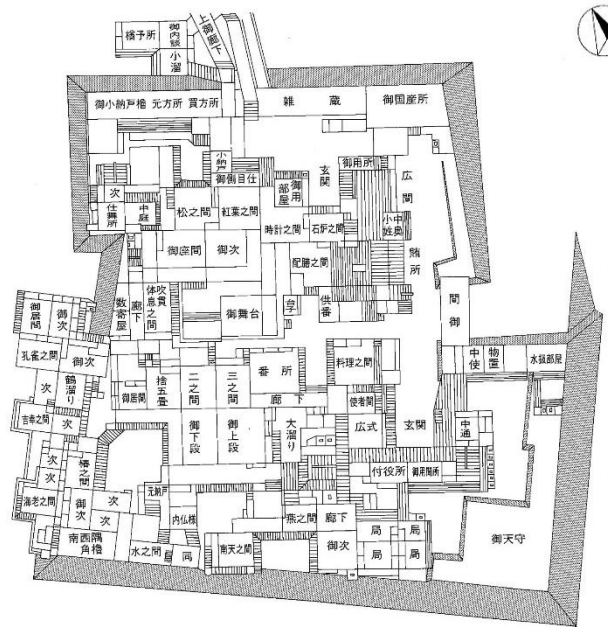
調査成果 第 44 次調査は、本丸御殿跡の確認等を目的に実施しました。調査の結果、東側調査区において礎石が確認されました。このうち東側の 9 石は規則的に並んでおり、建物の礎石と考えられますが、江戸時代の絵図や明治時代の公園設計図には建物の記載がない地点なので、何の建物なのかは不明です。礎石は、江戸～明治時代の整地層の中から見つかったので、その時代のものと考えられます。西側の 2 石は、被熱し変色していました。本丸御殿が火災で焼失した際に被熱した可能性があります。



盛岡城跡本丸地区現況図 (S=1:500)



『盛岡城本丸建物平面図 (写)』 (江戸中期)



『霊承院様御代大奥御住居図 (写)』 (江戸後期)  
※霊承院

盛岡藩第14代藩主南部利済(1797~1855)の法号。  
三重櫓の呼び名を「天守」と改めた藩主でもある。

### 腰曲輪 (こしくるわ)

本丸などの主要な曲輪の周りにより低く設けられた、細長い曲輪のこと。山城や平山城に多く見られる。

### 平山城 (ひらやまじろ)

小高い山(丘)と周辺の平地を含めて築かれた城。山の上に築くことで得られる防御性と、平地に築くことで得られる利便性の両方を兼ね備える。

### 櫓 (やぐら)

「矢蔵」「矢倉」とも書かれる。物見を兼ねた武器庫であり、籠城して戦うときには戦闘拠点となった。

### 連郭式 (れんかくしき)

本丸、二ノ丸、三ノ丸を一直線に並べた、城郭の設計方法。

## 盛岡市 遺跡の学び館

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1

Tel. 019-635-6600 Fax. 019-635-6605

HP: <https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/>

[kankou/1037106/rekishi/1009437/1009438.html](https://www.city.morioka.iwate.jp/kankou/1037106/rekishi/1009437/1009438.html)

E-Mail: [iseki@city.morioka.iwate.jp](mailto:iseki@city.morioka.iwate.jp)